

# ハンドボール 戰評用紙

大会	全国高校総体県予選				性別	男子
日時	令和 4年 6月 18日 (土)				準決勝	
会場	浦和駒場体育館				THROW-OFF	13 : 00 ~
審判	天野 和義				市川 和樹	

チーム名	total		total	チーム名
浦和学院	48	23 — 25 — — — 7mTC	20	越谷南

## 戦 評

男子準決勝第1試合目は、越谷南のスローオフから始まった。先制点は浦和学院5番石井。浦和学院は2番井上、7番竹内、8番榎本らの得点で試合の主導権を握る。対する越谷南は、11番井原のミドルシュートを中心に得点するも、浦和学院の厚いディフェンスに阻まれリズムをつくりきれない。試合開始5分で6-2の浦和学院リード。越谷南5番の小林が、浦和学院ディフェンスの裏に走りこんでシュートを決めたのをきっかけに、越谷南が反撃開始。3番嶋田や9番村山が得点をあげ点差を詰めていく。しかし、浦和学院の4番平岡、13番塩畠が得点をあげ、12-6と点差が開くと越谷南がたまらずタイムアウト。その後は浦和学院のペース。9番大久保、11番道ら、多くの選手が得点を上げ点差を開いていく。越谷南高校はシュートを狙うも、浦和学院12番松本の好セーブに阻まれ、得点までが遠い。ターンオーバーからの速攻で越谷南5番小林が、カットインで越谷南2番齊藤、4番神山ら得点をあげるも、得点差をつめることができない。前半は23-11の浦和学院リードで折り返す。後半は浦和学院10番加崎、8番榎本の連続得点で始まった。越谷南は11番井原らの得点で食らいつこうとするが、浦和学院の猛攻を防ぐことができず点差は開いていく。終始流れを渡さなかつた浦和学院が48対20と昨年度優勝校としての実力を見せ勝利を収めた。

戦評記入者

古川 翔太